

製品名: BID ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21018**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:1000-1:4000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:22kD;Observed MW:22kD

抗原情報

遺伝子名	BID
別名	BID;BH3-interacting domain death agonist;p22 BID;BID
遺伝子 ID	637.0
SwissProt ID	P55957
免疫原	ヒト Bid の合成ペプチド

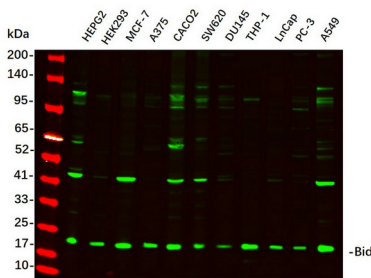
背景

細胞局在:細胞質. ミトコンドリア膜. ミトコンドリア外膜. 切断されていない場合、主に細胞質にあります。.; [BH3 相互作用ドメイン]

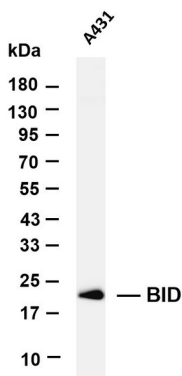
スアゴニスト p15]: ミトコンドリア膜. 内在性膜タンパク質としてミトコンドリアに移行します。.; [BH3 相互作用ドメインスアゴニスト p13]: ミトコンドリア膜. ミトコンドリア膜に関連します。.; [アイソフォーム 1]: 細胞質; [アイソフォーム 3]: 細胞質; [アイソフォーム 2]: ミトコンドリア膜. アイソフォーム 2 のかなりの割合がミトコンドリアに局在し、構造的に切断される可能性があります。この遺伝子は、アゴニストである BAX またはアンタゴニストである BCL2 とヘテロ二量体を形成する細胞死アゴニストをコードしています。コードされているタンパク質は、細胞死制御因子である BCL-2 ファミリーのメンバーです。これは、カスパーゼ 8 (CASP8) によって誘導されるミトコンドリア損傷のメディエーターです。CASP8 はこのコードされているタンパク質を切断し、COOH 末端部分がミトコンドリアに移行してシトクロム c の放出を引き起こします。複数の選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが見つっていますが、一部のバリエーションの全長は未だ解明されていません。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

研究分野

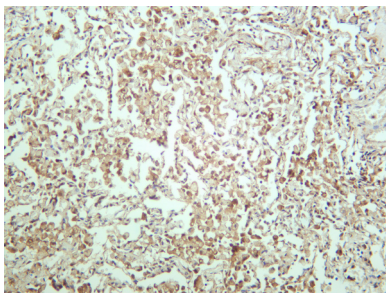
画像データ



各種細胞溶解液を用いたウェスタンブロット分析。タンパク質は 4~20% SDS-PAGE で分離し、メンブレンは 1:2000 に希釈した Bid Rabbit mAb でプロットした。二次抗体: Dylight 800、ヤギ抗ウサギ IgG。



様々な全細胞ライセートを 4~20% SDS-PAGE で分離し、膜を抗 BID 抗体でプロットした。抗体の検出には、HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG (H + L) 抗体を用いた。



ヒトの肺を抗 BID ウサギ抗体で染色した